

第3学年 社会科学学習指導案

1 単元名 市のうつりかわり～八千代市の様子と人々の暮らし～

2 単元について

(1) 単元の目標

交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめ，市や人々の様子を捉え，それらの変化を考えて表現することを通して，市や人々の様子は時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解できるようにする。

(2) 単元についての考え

本単元は，2020年度の指導要領改訂により新設され，3学年社会科の中で初めて歴史的な事象を扱う内容である。ここでは，交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目し比べる活動を通して，八千代市がどのように移り変わってきたのかを学ぶ。

市の様子が大きく変わった複数の時期を取り上げ，さまざまな変化を具体的に捉えたり分かったことを年表にまとめたりする。それらを関連付けて考えることで，八千代市がどのように移り変わってきたのかの因果関係に気付かせていく。また，時期の区分について，「昭和」「平成」「令和」などの元号を用いた言い表し方があったり，「公共施設」を扱う際には，市が整備を進めてきたことや租税の役割について，市の現在の情勢を捉えるための基礎知識として授業内で取り上げる。

交通や公共施設が整備され人口が増えたり，土地利用の様子が変わったりしてきたことについて調べ，時代が移り変わっていく中での市や人々の様子について考えるとともに，都市化や外国籍の人口の増加，少子高齢化などの市全体の変化の傾向について理解する。これらの学習内容を基に，未来の八千代市がどのような市に発展してほしいかを考え，討論できるようにしたい。単元終末には，具体的に未来の八千代市のためにどのような行動をしていくべきかを児童一人一人が考えをもてるようにしたい。

(3) 単元におけるE S Dの視点

八千代市では，少子高齢化や外国籍人口の増加などの現状がある。それに対して，市民や行政などのあらゆる立場の人々が，八千代市が抱えるこれらの課題について考え対策を講じているところである。本単元終末では，これからの八千代市の発展を考える上で，八千代市民の視点に焦点を当てていく。子供たちは現在八千代市に住んでいる「市民」であり，これからも八千代市での生活が続いていくと予想される。八千代市民として，これからの八千代市の在り方を考えることが「責任をもって自分事として取り組む」「地域との関わりを大切にする」といったE S Dの視点につながると考える。以上のことから，本単元におけるE S Dの視点を以下のように設定した。

○構成概念：Ⅱ相互性「関わり合っている」Ⅵ責任性「責任をもって」

○能力・態度：③多面的，総合的に考える力 ⑥つながりを尊重する態度

○めざす姿：市の人口，交通，土地の使われ方，公共施設，生活の道具の移り変わりを理解し，市が発展するためにこれからどのようになってほしいか考え，自分たちが市のために行動することが市の発展につながるという考えがもてる。

(4) めざす姿に迫るための手立て

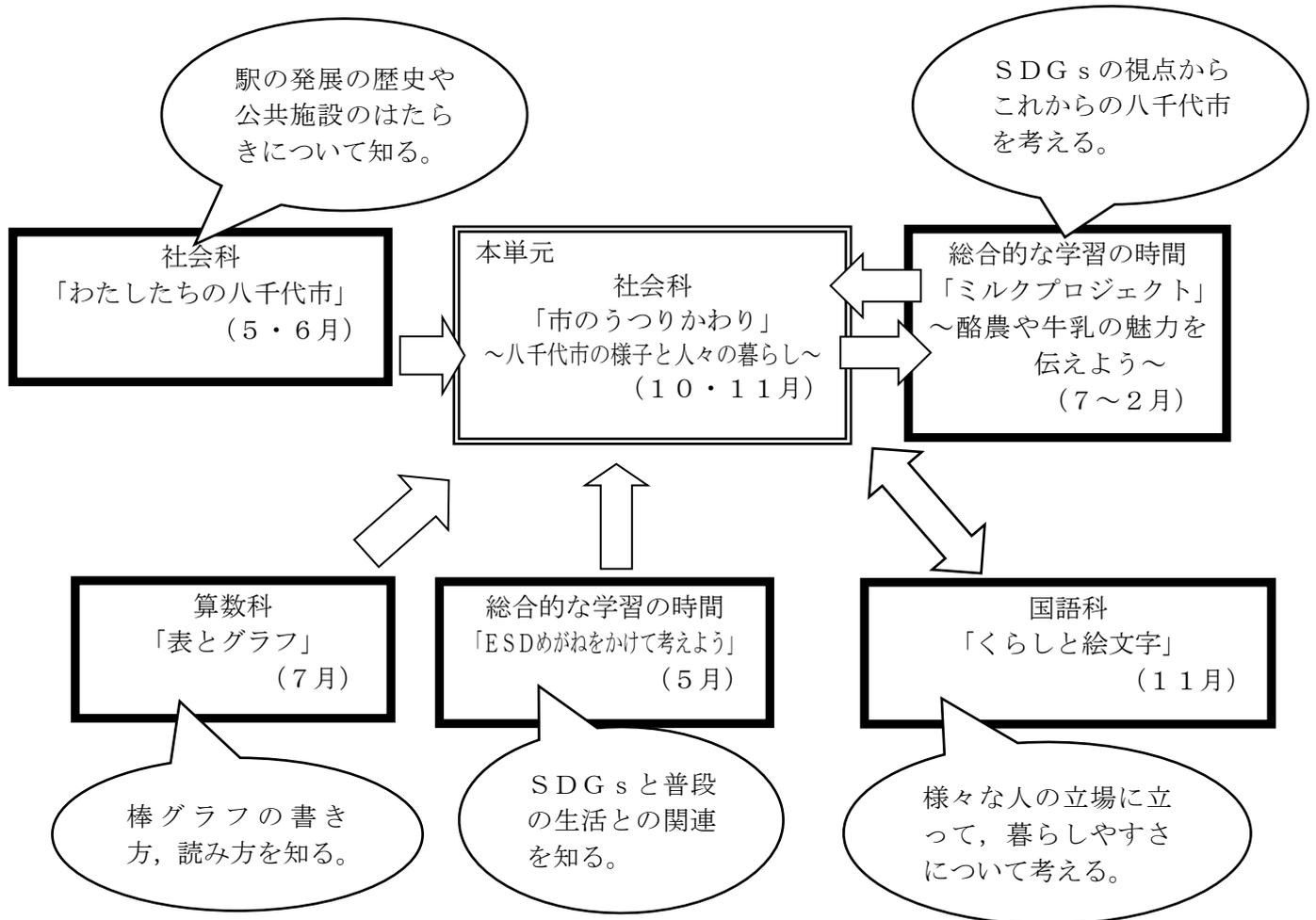
めざす姿に近づくための学習問題づくりの工夫

- 単元導入時に、八千代市立郷土博物館の職員をゲストティーチャーとして招き、昔使われていた道具に触れることや昔の八千代市についての話を聴くことを通して、昔の八千代市の様子に関心がもてるようにする。
- 八千代市の昔と今の年代ごとの資料を見比べることで、交通、土地利用、人口、公共施設、生活の道具の時代ごとの移り変わりを調べられるようにする。
- 昭和初期と昭和後期の人口の推移を見比べることで、市の人口がどうして増加したのかについて疑問をもち、八千代市の変化について調べられるようにする。
- 勝田台駅ができたころの八千代市と、現在の八千代市の違いを写真から読み取り、東葉高速鉄道ができたことによる八千代市の変化について関心がもてるようにする。

めざす姿に近づくためのまとめる展開の工夫

- 単元後半では、時代ごとにまとめた市の移り変わりの年表の関係を考えることで、交通、土地利用、人口、公共施設、生活の道具という5つの項目が時代の移り変わりとともに変化していることに気付くようにする。
- 市民として今後の八千代市の発展のため考えたり、討論したりすることを通して、八千代市のために自分にできることはないかを考え、学んだことを自分の生活に生かそうとする姿勢をもてるようにする。

3 本単元と他教科との関連



4 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いについて関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，市や人々の生活の様子を理解している。</p> <p>② 調べたことを年表や文などにまとめ，市や人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解している。</p>	<p>① 交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，問いを見出し，市や人々の生活の様子について表現している。</p> <p>② 駅や鉄道，公共施設ができたこと，人口が変化してきたこと，土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり，市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして，市の人々の様子の変化を考え，適切に表現している。</p> <p>③ 未来の八千代市がどんな市になってほしいのか，そのためには自分はどんなことができるのかを既習の学習内容を根拠にして，考えている。</p>	<p>① 市の様子の移り変わりについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。</p> <p>② これからの八千代市について関心をもち，八千代市のために自分にできることを考えている。</p>

5 単元の全体計画（全12時間）

学習過程 (時数)	・指導上のポイント	■評価規準	・資料 ○思考ツール
ねかせ	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの家庭で「ふるいものがし」を行い，昔の道具や昔の地域の様子について調べる活動を行う。 調べてきたことを共有し，今後の学習につなげる。 		・プリント
つかむ 事象観察 問題構成 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるいものがし」をする中で，昔と今では，くらしの様子も使われていた道具も違うことに疑問をもち，学習問題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>人々のくらしや道具は，どのように変わってきたのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館の出張授業を受け，生活の道具の移り変わりについて調べていくことを押さえる。 	<p>■思考・判断・表現①</p> <p>■主体的に学習に取り組む態度①</p>	・プリント
調べる 自力解決 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館の職員の講話を受け，疑問に思ったことを質問するなどして調べ学習を行う。 実際に昔の道具に触れたり，使ったりする体験を行い，くらしの道具への理解を深める。 	■知識・技能①	・昔の道具
まとめる (3)	<ul style="list-style-type: none"> 生活の道具の移り変わりについて，調べたことをまとめて分かったこ 	■思考・判断・表現②	・昔の道具と今の道具の

	<p>とを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具が使われていた時代（昭和初期）の八千代市の様子について調べ学習を行い，昭和初期の八千代市の人口，交通，土地利用，公共施設について押さえる。 		<p>写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和初期の八千代市の様子がわかる資料
	<p>くらしの道具は，人々の知恵や努力によって工夫され使われてきており，くらしが便利になるように変わってきた。</p>		
<p>つかむ 事象観察 問題構成 (4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和初期と昭和後期の人口の推移を見比べ，市の人口がどうして増加したのかについて疑問をもち，学習問題を設定する。 	<p>■思考・判断・表現①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「昭和初期」の八千代市の写真 ・「昭和後期」の八千代市の写真 ・人口グラフ
	<p>たった20年でどうしてこんなに市の人口がふえたのだろうか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料などをもとに予想を立てる。 	<p>■主体的に学習に取り組む態度①</p>	
<p>調べる 自力解決 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和後期の交通や公共施設，土地利用について，資料や地図を使って調べ学習を行う。 	<p>■知識・技能①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レイヤー ・シール ・八千代市の白地図 ・調べ資料
<p>まとめる 比較 整序 (6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通，土地利用，人口，公共施設，生活の道具の移り変わりについて調べたことをもとに話し合う。 ・昭和後期について年表にまとめる。 	<p>■思考・判断・表現②</p> <p>■知識・技能②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レイヤー ・シール ・八千代市の白地図 ・年表
	<p>国道16号ができたり，新しい駅ができたり，八千代市に全国初の団地ができたこと，八千代市の人口が増えた。</p>		
<p>つかむ 事象観察 問題構成 (7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東葉勝田台駅ができたころ（平成）の八千代市と現在の八千代市の違いについて疑問をもち，学習問題を設定する。 	<p>■思考・判断・表現①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成」の八千代市の写真 ・「現在」の八千代市の写真
	<p>東葉高速鉄道ができたことで，なぜこんなに八千代市の様子が変わったのだろうか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された資料を基に予想を立て，話し合う。 	<p>■主体的に学習に取り組む態度①</p>	
<p>調べる 自力解決 (8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成の交通や公共施設，土地利用について資料や地図を使って調べ学習を行う。 	<p>■知識・技能①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レイヤー ・シール ・八千代市の白地図 ・調べ資料
<p>まとめる 比較</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東葉高速鉄道ができたころの様子に着目して話し合う。 	<p>■思考・判断・表現②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在」の八千代市の写真

<p>整序 (9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の八千代市は、外国籍人口の増加、少子高齢化などの現状があることを知る。 ・人口が増えたことで、税収も増え、様々な公共施設が建ったということを押さえる。 ・平成について年表にまとめる。 	<p>■知識・技能②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在」の八千代市の写真 ・年表 ・外国籍の人口増加や少子高齢化についての資料
<p>まとめる 比較 整序 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和初期，昭和後期，平成の3つの年表を整理し，人口，交通，土地利用，公共施設という4つの項目が関連づいて変化していることに気づき，学習問題を設定する。 	<p>■思考・判断・表現②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の棒グラフ ・年表 ○矢印
<p>いかす 発展 (11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代市の「八千代」には、永遠に発展するという意味があることを知り、みんなが住み続けられる八千代市にするためには、これからの八千代市がどんな市になってほしいかを考えるようにする。 	<p>■思考・判断・表現③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の掲示物 ・3つの未来の八千代市（イラスト）

東葉高速鉄道ができたことで、より交通が便利になり、人口が増えたり土地の利用の仕方が変わったりしたため八千代市の様子は大きく変化した。

3つの年表には、どんなつながりがあるのだろうか。

・年表を整理し、それぞれを関連させ気付いたことや分かったことを発表する。

八千代市は、人々の生活が電気によって便利になったり、道路や電車が通るようになったり、団地や工場ができるなど土地の使われ方が変わったりしたことによって、時代とともに大きく変わってきた。

どんな市だったら、みんなが住み続けたいと思うだろうか。

・八千代市の現状から理想の未来の八千代市を提示する。

- A どんな人も安心して暮らせる市
- B 子供から大人まで楽しめる公共施設がある市
- C 交通が便利で色々なところに行ける市

・3つの未来の八千代市の姿から、自分がふさわしいと思うものを選択し、既習内容を根拠に自分の考えをノートに書く。

いかす 発展 (12) 12/12 平田学級	<ul style="list-style-type: none"> ・前時でノートに書いた自分の考えをもとに、みんなが住み続けたい八千代市とはどんな市なのかを話し合う。 ・八千代市民として、みんなが住み続けたい八千代市を実現するために自分にできることはないかを考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■思考・判断・表現③ ■主体的に学習に取り組む態度③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の掲示物 ・3つの未来の八千代市(イラスト) ・名前マグネット
---	---	---	--

6 本時の指導 (12/12) いかす[発展]

(1) 目標

市や人々の様子が時間の経過に伴い移り変わってきたことから見える市の魅力や課題を捉え、これからの八千代市がどんな市になってほしいかを話し合うことを通して、八千代市民として自分ができることは何かを考えることができる。

(2) 評価規準

〈思考・判断・表現〉

未来の八千代市がどんな市になってほしいのかを既習の学習内容を根拠にして考えている。

〈主体的に学習に取り組む態度〉

これからの八千代市について関心を持ち、八千代市のために自分にできることを考えている。

(3) 展開

時配	学習活動と内容	□指導上の留意点 ■評価(評価方法)	・資料 ○思考ツール
5	1 学習問題の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> どんな市だったら、みんなが住み続けたいと思うだろうか。 </div>	□前時までを振り返り、八千代市の魅力や課題について再確認する。 □前時に考えた自分の考えを確認する。	・既習の掲示物 ・名前マグネット
25	2 3つの未来の八千代市の姿から自分の考えを選択し、全体で意見を発表し合う。 ・「どんな人とも安心して暮らせる市」がいいと思う。理由は、高齢化が進んでいて、お年寄りも住みやすい市にすることが大切だと思ったから。 ・「子供から大人まで楽しめる公共施設がある市」がいいと思う。理由は、だれでも楽しめる便利な施設があれば住みたいと思う人が増えるから。 ・「みんなが便利に暮らせる市」がいいと思う。理由は、公共施設が整っていたり、電車がたくさん通ったりすると生活が便利になり、住み続けたいと思うから。	□話し合いでは、どうしてその意見をもったのか、前時までの学習を根拠に理由を説明するようにする。 □それぞれの選択肢を選ぶ基準として、「住み続けられる八千代市」を念頭に考えるようにする。 □前時までの学習を想起しやすいよう、教室側面に既習内容を掲示しておく。 ■未来の八千代市がどんな市になってほしいのかを既習の学習内容を根拠にして考えている。(ノート・発言)	・3つの未来の八千代市(イラスト)

15	<p>3 学んだことを生かし、八千代市民として自分にできることはないか考え、ノートに書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の人が困っていたら助けられるよう、英語の勉強を頑張りたい。 ・たくさんの人に八千代市の魅力を知ってもらえるよう、自分がまずは八千代市のよさを調べていきたい。 ・たくさんの人に八千代市が素敵な市だと思ってもらえるように、ごみ拾いなどのボランティアに積極的に参加したい。 ・公共交通機関や公共施設を積極的に利用する。 	<p>□自分ができることについて、前時までの学習を生かして具体的に考えるようにする。</p> <p>■これからの八千代市について関心を持ち、八千代市のために自分にできることを考えている。 (ノート・発言)</p>	
----	--	--	--

(4) 板書計画

どんな市だったら、みんなが住み続けたいと思うだろうか。

みんなが
平等に楽しく
暮らせる市

たくさんの
人が訪れる、
魅力ある市

みんなが便利
に気持ちよく
暮らせる市

(理由)

高齢化が進んでいて、お年寄りも住みやすい市にすることが大切だから

(理由)

多くの人を訪れることで、住みたいと思う人が増えるから。

(理由)

公共施設が整っていたり、電車がたくさん通ったりすると生活が便利になるから。

【自分にできること】

- ・たくさんの人に八千代市がすてきな市だと思ってもらえるように、ボランティアに自分から参加する。
- ・電車や公共施設をたくさん利用する。
- ・外国の人が困っていたら助けられるよう、英語の勉強を頑張りたい。